


今年の報恩講

毎年11月から1月にかけては報恩講の季節です。お寺で、地区で、家庭で、そしてご本山でと、順次各所で報恩講が営まれます。報恩講は宗祖親鸞聖人のご恩をしのび、そのご苦労を通じて阿弥陀如来のお救いをあらためて心に深く味わわせていただく、言うまでもなく、浄土真宗の門徒にとって最も大切な行事です。

今年のお寺の報恩講は、新型コロナ禍のため恒例のお斎が中止となり、また当初予定されていたご講師の佐々木高彰師が急病のため、人気の節談説教も聞けなくなりました。しかし、これまた新型コロナ禍のため北海道でのお説教が中止となり自坊におられた作木の東光坊の坂原英見師が急遽代理を務めて下さり、素晴らしいお説教を聞くことができました。

報恩講にあわせて、三人のご門徒が、丹精込めて育てられた大輪の菊の鉢を献花され、「正順寺菊花展」も開催されました。お寺に来られたご門徒だけでなく、通りがかりの方も境内に入って来られ、素晴らしい菊を鑑賞して感動されていました。

さて、井口には古くから講という相互扶助の組織が各地区にあり、お寺を中心に冠婚葬祭

や地区の催し事を共同で維持してきました。年末は講にといました。年末は講にといまる。 古報恩講の時期です。以前は当番の家に講員が集まって法 を行った後、一緒に宴会を催せる。 という「おむねあげ」ともが、最いない。 という「おむねあげ」とが、最いでは住宅事情もあり、おきない。 ははまする。 ははまする。 はないる習わしがありましたがままる。 はないる習わしがありましたがままる。 はないる習わしがありましたがままた。 はないる習わしがありましたが多く



なりました。今年は5つの講がお寺で報恩講を行いました。講の報恩講のためにお寺に来られた方々も菊の花を見て喜んでおられました。この様な伝統はいつまでも続いて欲しいものです。

響流仏教婦人会打敷(うちしき)懇志について

創立 40 周年記念事業に取り組んでいる響流仏教婦人会では、ご存知のように本堂の打敷 懇志を募っておりました。

打敷は法要儀式に必要な仏前荘厳道具の一つで、平成大修復の際には揃えることが出来なかったものです。そこで創立 40 周年の記念品として打敷をお供えしたいと活動を始められました。しかしながら大変高価な品で仏教婦人会だけでは到底難しいと、有縁の皆様にもお声をかけてお願いされました。

先日の報恩講法座を区切りとして集計をされましたところ、目標額を上回る懇志をお届け頂き、報恩講法座の昼席において、井東美智恵会長より感謝の気持ちが伝えられました。

お披露目は40周年記念法要(令和3年6月5日予定)になります。なお会計報告につきましては記念法座時になされる予定です。

越後ご旧跡と「ゑしんの里」を訪ねて

2019 年 9 月 23 日~25 日、越後の親鸞聖人と妻恵信さまの旧跡を訪ねる正順寺巡礼旅に 出かけました。遅ればせながら旅の始末記を報告します。

台風17号接近下、総勢19名での井口出発となりました。案の定、台風の影響で当初予定 の新幹線に乗り遅れ、新大阪発の特急サンダーバードにも乗り遅れる事態となりましたが、 何とか次の特急の自由席に全員座れ、さらに北陸新幹線はくたかを乗り継いで無事新潟県 の上越妙高駅に到着しました。今回も前回の関東の旧跡を訪ねる旅と同様に、親鸞聖人の歴 史研究の第一人者で筑波大学名誉教授の今井雅晴先生に同行をお願いし、各旧跡について 興味深い解説をしていただくというアカデミックな旅となりました。



一日目に訪ねたのは、新潟県西部の 上越市近郊の旧跡です。 今から 800 年 の昔、専修念仏停止の法難により京都 を追われた親鸞聖人と恵信さまが最初 に上陸された「居多ケ浜(こたがはま)」、 御一家が過ごされた草庵跡に建つ「本 願寺国府別院」、そして恵信さまの御廟 所に建つ「ゑしんの里記念館」です。

一日目の宿は青原さとし監督の映画 「赤倉ホテルの念佛ばあちゃん」でお なじみになった有縁講の「赤倉ホテル」 でした。ロビーには豪華な金仏壇が設

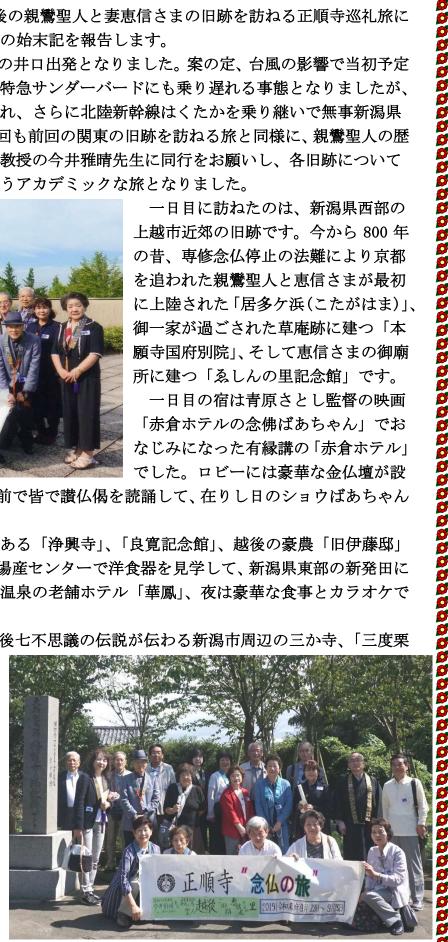
置されており、翌朝はこの仏壇の前で皆で讃仏偈を読誦して、在りし日のショウばあちゃん の姿に思いを馳せました。

二日目は、親鸞聖人の御廟所のある「浄興寺」、「良寛記念館」、越後の豪農「旧伊藤邸」 などを訪問し、さらに燕三条の地場産センターで洋食器を見学して、新潟県東部の新発田に 至る長丁場でした。泊まりは月岡温泉の老舗ホテル「華鳳」、夜は豪華な食事とカラオケで 親睦を深めました。

三日目は、親鸞聖人に関わる越後七不思議の伝説が伝わる新潟市周辺の三か寺、「三度栗

の孝順寺」、「数珠掛け桜、八房の 梅の梅護寺」、「田上の繋ぎ榧(か や)の了玄寺」を訪ね、新潟ふるさ と村で名物料理「番屋鍋」を堪能 した後、空路伊丹空港を経由し て、井口に帰りつきました。

今回も、親鸞聖人ゆかりの地を 巡る巡礼、おいしい料理と大宴 会、素晴らしいお土産の買い物な ど、楽しく有意義な旅でした。新 型コロナ禍の今から考えると夢 のような三日間でした。



ありがとう黒松

樹齢 400 年と言われ、昨年3月に広島市の保存樹に指定されたばかりの境内の黒松が、同 年秋に松くい虫が入り、またたく間に枯れてしまいました。正順寺の歴史や井口の今昔を見 つめてきた松であり、お寺のシンボルツリーでもありました。黒松伐採の日(12月16日)に は、近所のご門徒の方々がお集まりになり、お勤めをして別れを惜しみました。

あれから1年が経ちました。がらんとした境内には切り株が一つ残りましたが、大きくあ いた空には未だ慣れず、寂しさはひとしおです。盆踊り、木登り、松ぼっくり拾いなどの楽 しい思い出や風景としての黒松の姿は、皆様の胸の内から消えることはないでしょう。

枯れた黒松を想い、ご門徒の大上充子様(広島俳句協会事務局長、俳句紙「早苗」同人)が 次の句を読まれました。

極月や 寺の要の 松枯れて

松枯れの 供養始めの 御取越

伐られゆく 黒松冬日 燦々と





また、広島市植物公園から新種の桜と認定された境内の"正順寺桜"も、今秋枯れてしま いました。後にはひこばえが数本生えてきましたが、松と桜が急に無くなり庭の風景はすっ かり様変わりしました。境内のレイアウトについては思案中です。

裏山の崖崩落防止工事

広島市による「急傾斜地崩落防止工事」の一環として、お寺の裏山に係る第一期工事が昨



年度完了しました。今年度も引き続き3月中旬ま での予定で第二期工事が実施されています。長年 懸念されていた崖崩落の危険が除去され、安心し て聴聞に励むことができるようになりました。共 に喜んでいるところです。なお、工事に伴い本堂 裏の駐車場が使えなくなっており、ご不便をおか けしています。法座開催時には境内を開放してい ますのでご協力のほどよろしくお願いします。

白色白光

専如ご門主が出されたご親教を受けてご門徒が寄稿されました。

現代人の心に添う報謝行

正順寺門徒 大多和公昭 (法名 釈護信)

基本理念 専如ご門主ご親教(私たちのちかい)

- 一、 自分の殻に閉じこもることなく、穏やかな顔と優しい言葉を大切にします 微笑み語りかける仏さまのように
- 一、 むさぼり、いかり、おろかさに流されず、しなやかな心と振る舞いを心がけます心やすらかな仏さまのように
- 一、 自分だけを大事にすることなく、人と喜びや悲しみを分かち合います慈悲に満ちた仏さまのように
- 一、生かされていることに気づき、日々に精一杯つとめます 人びとの救いに尽くす仏さまのように

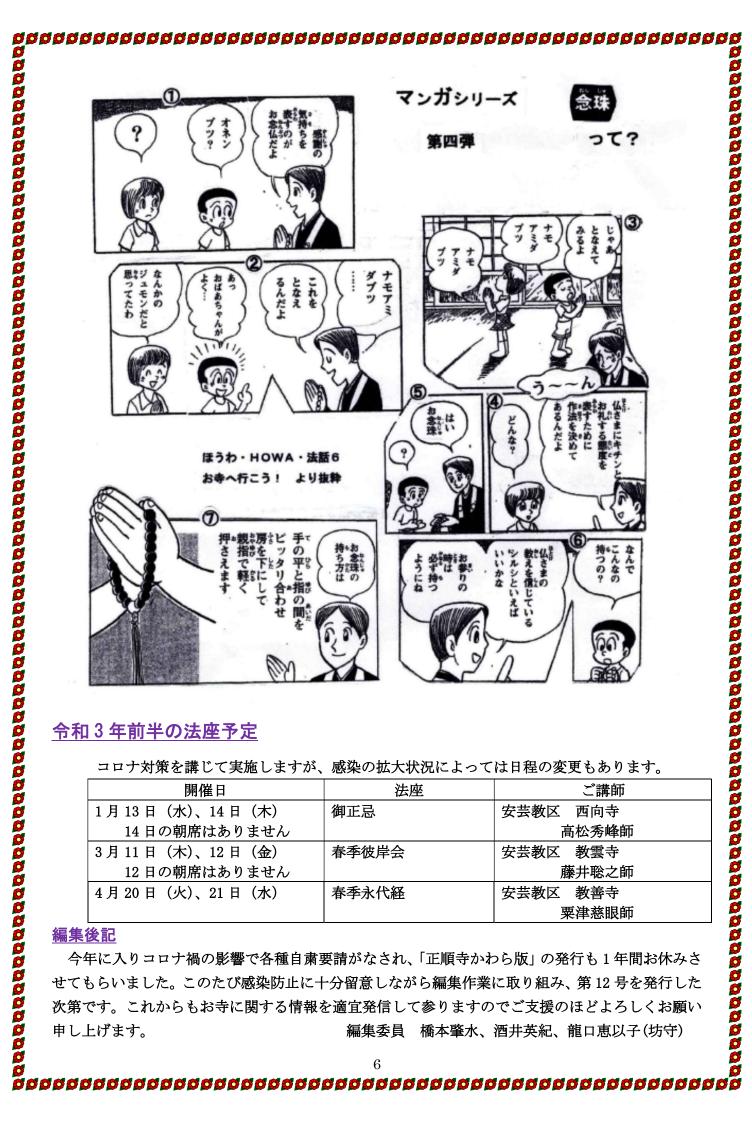
報謝行十階

- 第一階 つねに食前、食後の言葉を称える
- 第二階 家族のはたらきを知り、感謝の心を述べる
- 第三階 隣人のはたらきを知り、会えば挨拶をする
- 第四階 職場の人びとのはたらきを知り、会えば挨拶をする
- 第五階 教育の場にある人びとのはたらきを知り、会えば挨拶をする
- 第六階 医療に与る人びとのはたらきを知り、会えば感謝の心を述べる
- 第七階 仏道の場にある人びとのはたらきを知り、会えば挨拶をする
- 第八階 身近な人びとに仏のはたらきを伝える
- 第九階 身近な人々の不安や恐れを和らげてあげる
- 第十階 生きる智慧を授かる仏のはたらきを知り、名号を称える
 - 1. 「はたらき」は目に見えませんが現実空間と仮想空間に共通するキーワードです。 科学で知る「はたらき」は現実空間に根をおろし、仏教で知る「はたらき」は現実 仮想両空間で作用しています。
 - 2.「挨拶」は敬意を払う行いで、相手は認められていることを知ります。
 - 3. 「感謝」は第一級の誉め言葉で、相手に喜びを与えます。

仏教なるほど知識 「とかく」の語源は?

夏目漱石が小説「草枕」冒頭で、「智に働けば角が立つ・・・" 兎角" に人の世は住みにくい」と用いたのが有名で、その後一般的に広く使われるようになりましたが、「とかく」を「兎角」と書くのは当て字です。仏教には「兎角亀毛」という語があり、「兎の角」や「亀の毛」は本来ありえないことをいいます。

「広辞苑」よると「とかく」の意味は、①かれこれ、なにやかや、いろいろ、 ②ともすれば、ややもすれば、③とにかく、何にせよ



開催日	法座	ご講師
1月13日(水)、14日(木)	御正忌	安芸教区 西向寺
14 日の朝席はありません		高松秀峰師
3月11日(木)、12日(金)	春季彼岸会	安芸教区 教雲寺
12 日の朝席はありません		藤井聡之師
4月20日(火)、21日(水)	春季永代経	安芸教区 教善寺
		粟津慈眼師